

特集

5人の若手研究者。左から、久保泰さん(東京大総合研究博物館)は恐竜の歩き方と進化を、平沢達矢さん(理化学研究所)は恐竜の進化と遺伝子のことを、林昭次さん(岡山理科大)は骨の細かな構造から体と生態を、由中康平さん(筑波大)は恐竜の卵や巣を、千葉謙太郎さん(岡山理科大)は角竜の骨や成長を、それぞれ研究しておられます



「恐竜研究者になりたい」という学生・生徒が私の博物館によくやってくる。では、本物の恐竜研究者は子どものごとどうだったの? 3月2日、私の大学で開かれたシンポジウム「集え! 日本の若手恐竜研究者」で講演をした30歳代の恐竜研究者5人に、研究者になった理由も話しても

「小さいころから恐竜が好きで、その研究者になりたいかったです。コッコツと努力を重ね、英語も勉強し、外国でも研究を進められたようです。日本の大学や博物館にいる恐竜研究者は約20人(このうち私も含めて4人が岡山理科大)です。一方、日本には数万人の恐

恐竜調査隊が行く

岡山理科大教授・石垣恵

なぜ恐竜の研究者に? いました。なんと5人とも



「大好き」を原動力に勉強



シンポジウムのあった3月2日、アジア最大の肉食恐竜タルボサウルス(全長約10メートル)の組み上げ骨格も公開されました

「大好き」を原動力に勉強

恐竜研究者希望の子どもがいるでしょう。もし研究者になったらぜひ一緒に研究しましょう。それから研究者にならなくても、恐竜を学ぶことを通して人生に役立つことを身につけ、別の仕事で活躍することはよくあることです。恐竜研究者を目指しながら、科学の面白さや広がりを知り、いろいろ学ぶことはできますよ。実際に「昔は恐竜の研究

だから安心して恐竜を好きになってください。保護者の方も一緒に恐竜を楽しんでください。そして恐竜と一緒に科学の扉を開いたら、その中にはもっと広くてわくわくする世界がありますよ。

豆知識

日本の恐竜研究者 日本の恐竜研究者は約20人ですが、もう少し広がって「化石研究者」は数百人います。アマチュアや画家、漫画家も含めて化石に興味のある人が集う日本古生物学会の会員数は約1100人です。古生物学を学べる大学はネットで調べられます。